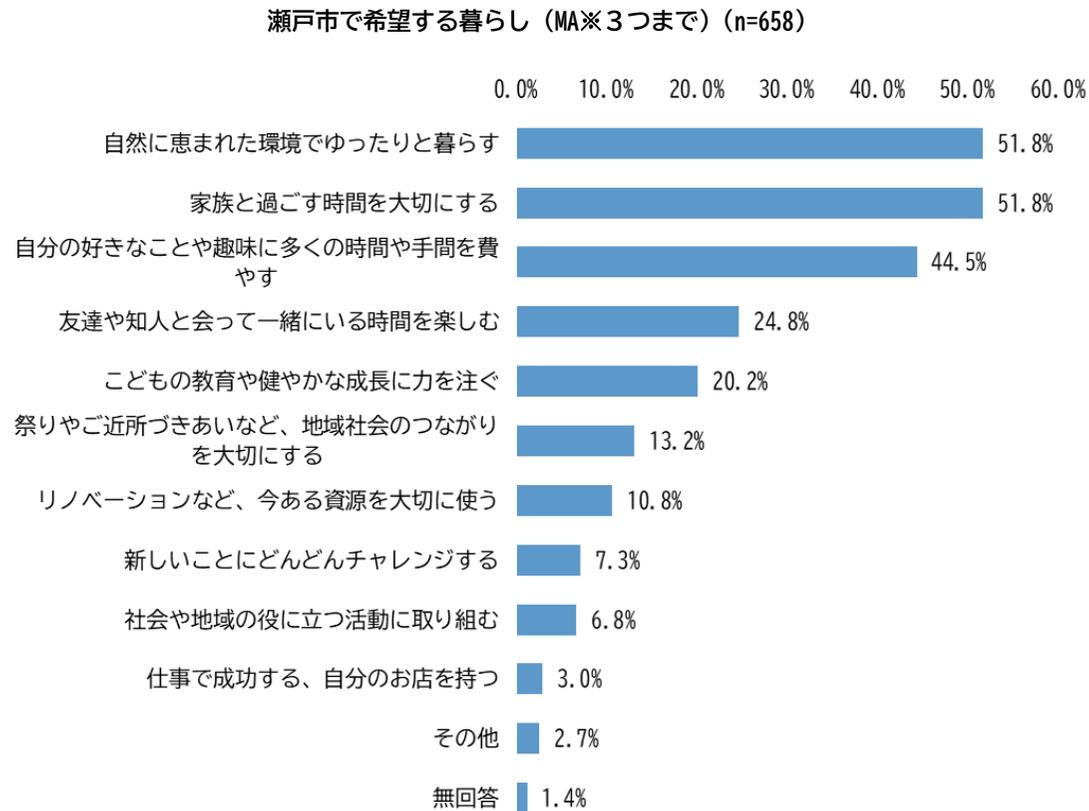


## 「関係人口・共創人口を増やす」参考データ 【論点1(3)】

### 瀬戸市民の志向（市民アンケート問14 瀬戸市でどのような暮らし方を希望するか）

#### 単純集計（問14）

「自然に恵まれた環境でゆったりと暮らす」、「家族と過ごす時間を大切にする」が51.8%で最も多く、「自分の好きなことや趣味に多くの時間や手間を費やす」（44.5%）が続く。

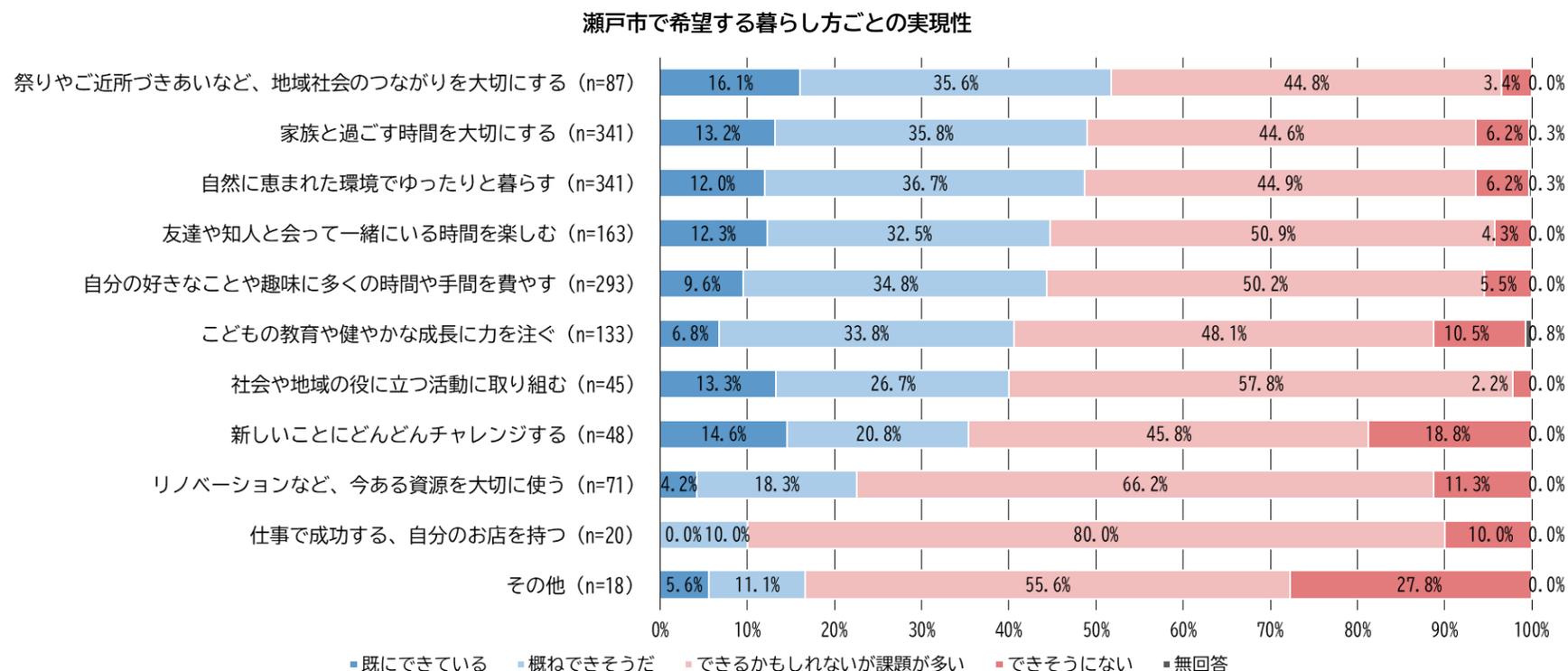


## クロス集計 問14で選択した希望する暮らし方について、瀬戸市で実現できるか（問15）

瀬戸市で希望されている暮らし方（問14）ごとに分析すると、瀬戸市で希望する暮らしが「既にできている」、「概ねできそうだ」の合計の割合が高い3項目は、「祭りやご近所づきあいなど、地域社会のつながりを大切にする」、「家族と過ごす時間を大切にする」、「自然に恵まれた環境でゆったりと暮らす」である。

反対に、「既にできている」、「概ねできそうだ」の合計の割合が低い3項目は、「仕事で成功する、自分のお店を持つ」、「リノベーションなど、今ある資源を大切に使う」、「新しいことにどんどんチャレンジする」である。

→「仕事で成功する、自分のお店を持つ」、「リノベーションなど、今ある資源を大切に使う」、「新しいことにどんどんチャレンジする」は、現状では、実現が難しい、実現にあたり課題が多いと捉えられている。



## 関係人口の分類と推計値

○2023年時点では、全国の18歳以上の居住者の2割強が関係人口であると言える。（全体で約2,263万人と推計。）

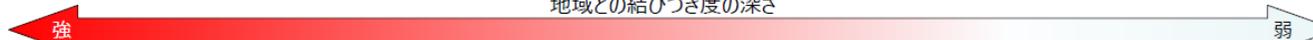
**関係人口**  
約22%  
(約2,263万人)

- ・移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、特定の地域に継続的に多様な形で関わる人
- ・地域や地域の人々との深い関わりを実現する暮らし方である「二地域居住等」を行う人も含む

**関係人口(訪問系)**  
約18% (約1,884万人)

日常生活圏、通勤圏、業務上の支社・営業所訪問等以外に定期的・継続的に関わりがある地域があり、かつ、訪問している人(単なる帰省などの地縁・血縁的な訪問者を除く)

地域とのかかわり度の深さ



**関係人口(非訪問系)**  
約4% (約379万人)

地域を訪問せず、ふるさと納税、クラウドファンディング、地場産品等購入、特定の地域の仕事の請け負い、情報発信、オンライン交流等を継続的に行っている人

※関係人口の分類は、国土交通省「地域とのかかわりについてのアンケート」(2023年度)における調査上の分類  
(出典)国土交通省「地域とのかかわりについてのアンケート」(2023年度)の調査結果をもとにした国土交通省国土政策局による推計値

(調査手法) ・全国18歳以上の男女約12万人を対象としてモニター調査を実施  
・モニター調査により得られた結果を拡大推計

【調査手法】  
対象：全国18歳以上の男女  
手法：WEB アンケート  
期間：R5.9～R5.10

【回収結果】  
一次調査 12万サンプル  
↓  
二次調査 4万サンプル  
※一次調査の内容に応じて、下記に該当する人に追加的に二次調査を実施  
・訪問による地域とのかかわりがある人  
・非訪問に身による地域とのかかわりがある人

(引用) 国土交通省  
「関係人口の実態把握  
(令和7年6月)」

(引用)国土交通省「関係人口の分類と推計値」

